

2 目標達成計画

作成日: 平成 27年 9月 29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1-(1)	玄関に法人の運営方針(利用者が家庭的な環境のもとで自分の能力に応じ日常生活を営むことができることを目的とした介護サービスを提供します。(後略)の提示をしているが、理念の設定はしていない。	今まで個々の実践を中心にやってきたので、全員が同じ理念を掲げてしまうことに抵抗がありましたが、振り返っていく原点の1つとして、共有した努力目標を掲げていきたい。	グループホーム独自の理念設定を会議の中でスタッフ同士話し合い、必要に応じてその都度変更し、努力目標を作って日々振り返っていく。	1年
2	4-(3)	複数の事業所で構成される運営推進会議となっているが、グループホーム単独の内容について意見交換が実現できる規模の組織化が可能かどうか、構成を含めて検討するよう期待したい。	グループホームに特化した話し合いや構成員で、会議の設置を検討。	運営推進会議の内容として、近隣の駐在所、地域の消防団員の方にも協力してもらい、施設のことを理解してもらったり、講師として会議の場に参加してもらうようにする。	1年
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。